

DRA-CAD22 シリーズ

新機能概要

建築の未来を創造する設計ツールへ

2025年の省エネ基準適合義務化に向けた法改正への対応。拡張現実の活用(AR)や構造計算との連携を強化した建築設計ツールです。

価格

DRA-CAD22 建築設計・製図CAD 264,000円(税込)
DRA-CAD22 LE 建築2次元製図CAD 132,000円(税込)

※ キャンペーン期間(2024年3月31日まで)は優待価格があります。

★ DRA-CAD22のみの機能(DRA-CAD22 LEではご利用できません)

プログラム連携とデータ互換性の向上

図面や3Dモデルを現実空間へARで投影

iPhoneやiPadのレンズを通して、平面図や3Dモデルを現実空間に配置できます。計画地で実際のスケール感を確認したり、クライアントと完成イメージを共有したりできます。

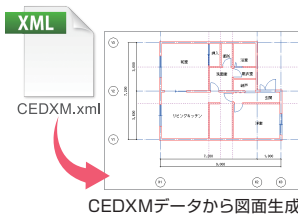
※ App Storeから専用アプリのインストールが必要です。



計画地で図面をAR表示

CEDXMデータから図面化

木造軸組工法住宅の意匠CADと生産CADとのデータ連携フォーマットに対応します。HOUSE-ST1など構造計算ソフトの作成データを、平面図や3Dモデルとして読み込みます。

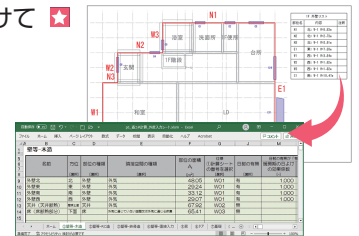


CEDXMデータから図面生成

2025年問題を意識した設計アシスト

省エネ基準適合義務化に向けて

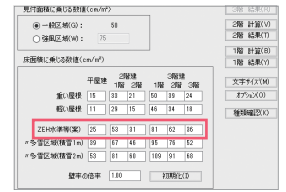
2025年にすべての住宅が省エネ基準適合義務化となります。図面から面積や長さなどの数値を集計して、省エネ計算書の根拠となる参考図を作成できます。



数量を拾い入カシートへ

4号特例縮小に対応した壁量計算

太陽光パネルや断熱材などによる重量化を受け、新設されるZEH壁量基準計算に対応できます。長期間安全に暮らすため、また増改築時への備えとして早めの対応が呼びかけられています。

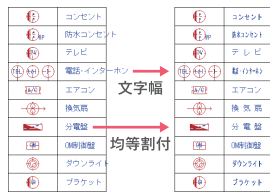


ZEH壁量基準に対応した計算

既存機能の拡張と改良

文字の微調整をスマートに

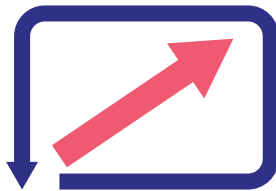
数値ではなく感覚的に少だけ移動させたり、文字の原点や幅を統一して枠内に収めたりなど、文字の位置や大きさ、スタイルなどを調整する機能を集約しました。これにより、希望する操作を素早くできます。



自動均等割付けで表に収める

矢印を思いのままに描く

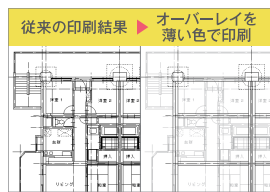
修正指示やプレゼンテーション用の矢印を、細かな設定なしに描けます。思いついた瞬間に、大きさやプロポーション・角度などを素早く、自在に変えて作成できます。



簡単に最適な大きさに描ける

細かな設定に対応した印刷機能

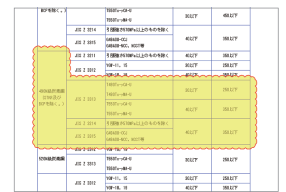
複数図面をまとめて印刷する時に、カラーモードの選択や複数範囲指定の無効化ができるようになりました。オーバーレイ図面の指定色による印刷も可能です。



オーバーレイの印刷色を設定

改良されたモクモクペンと文字の連番文字記入

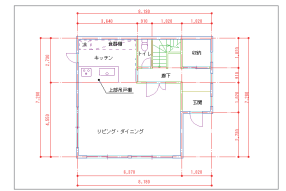
人気のモクモクペンの起動を高速化し、文字の自動中央配置などで使いやすくなりました。文字の連番記入では、連続する文字列の組み合わせをカスタマイズできます。



異なる縮尺でも同じ形状

一括で寸法線を描く

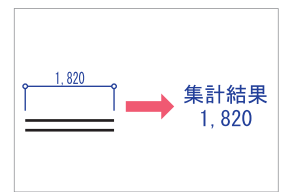
基本計画の初期段階で、平面プランとして通り芯や壁などを作図した後、一度に図面周囲に寸法線を描けます。計画の立案時に、図面の体裁を手早く整えられます。



図面周囲に一度に寸法線を描く

実務的な改良を図った数量集計

集計結果の値を、任意の計算式に代入する機能が追加されました。例えば図形の長さを1/2に評価することで、壁やフェンスなどのダブル線の長さをシングル線として集計できます。

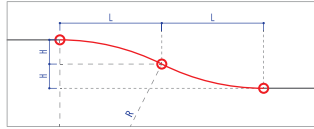


二重線を1つの物として集計

そのほかの新機能

PC鋼材間の結合曲線の作図

PC(PCa)設計における、PC鋼材間を結ぶ曲線を作図できます。



接続したいPC鋼材を選ぶだけ

選択モードバーの表示位置

コマンドのダイアログに表示される選択モードバーの位置をカスタマイズできます。



環境設定で好みの配置に

主な新機能対応表

	バージョン	22	21	20
データ変換				
CEDXM形式の読み書きで、木造構造計算ソフトと連携できる	★	○		
「CSV形式の読み込み」で座標のリストを図面化できる		○		
JWW読み書きで、グリッドに対応		○		
点群データの読み込みに対応	★	○	○	
Rhinocerosデータの読み書きに対応	★	○	○	
JWW形式の画像の透過色の読み書きに対応		○	○	
一括変換で複数図面を画像やPDFにできる		○	○	
国土地理院の数値地図情報「GML形式の読み込み」に対応		○	○	○
操作性				
自在にプロポーションを変えて「プレゼン矢印」で作図できる		○		
「ブロックリスト」でブロック名を変更できる		○		
文字のサイズ変更、編集、置換、リスト置換、集計に選択モードバー		○		
「環境設定」でダイアログに対する選択モードバーの位置を設定できる		○		
図面に同名画像がある時に、異なる画像として「画像挿入」できる		○		
開いていた図面をプロジェクトごとに切替える「ワークスペース」		○	○	
複数の図面を一度に「属性インポート」できる		○	○	
「属性のインポート」で参照した図面をリストから選択できる		○	○	
ファイルから起動した時に、前回終了時のファイルも開ける		○	○	
ユーザーズ、リファンレスをWEBで表示		○	○	
ウィンドウタブの表示や色、閉じるボタンの表現などを設定できる		○	○	
前回終了時に開いていた図面を開いて起動できる		○	○	
右クリックメニューから最近使ったコマンドが起動できる		○	○	
Windows 10エクスプローラースタイルの外観に変更		○	○	
標準ユーザー権限で、オプションコマンドの登録・実行ができる		○	○	
建築法規				
住宅の省エネルギー計算の根拠図、集計表が作成できる	★	○		
木造壁量計算で、ZEH壁量基準に対応		○		
採光計算で、令和5年4月施行に対応		○		
集計、計算				
フローティングウィンドウも含めて「文字の検索」「文字の集計」できる		○		
「数量集計」の集計表で並び順を変更できる		○		
選んだ図形に関する情報(長さ、面積など)を「クイック集計」できる		○	○	
選んだ図形を属性(レイヤ、カラーなど)で「クイック仕分集計」できる		○	○	
ブロックやパッケージ、シンボルを区別して「数量集計」できる		○	○	

	バージョン	22	21	20
二次元製図				
「CEDXM形式の読み込み」で木造建物の平面図を作成できる	★	○		
「モクモクベン」起動の高速化、文字自動配置や出力サイズ指定が可能		○		
図面の周囲に「一括寸法線作図」ができる		○		
文字の位置や大きさ、スタイルなどを調整できる「文字調整」		○		
文字をXY方向へマウスやキーボードで微調整する「文字位置調整」		○		
文字列の原点位置を合わせる「文字原点揃え」		○		
文字の高さや幅、間隔、改行幅、傾きを微調整する「文字サイズ調整」		○		
複数の文字列を、均等割付して「文字整列」できる		○		
「属性/書式コピー」で文字高さやフォントなどを個別にコピーできる		○		
「文字の連番記入」で連番のやり直しができる		○		
「文字の連番記入」で連番タイプのカスタマイズができる		○		
計算式を入力すると、計算結果で「文字記入」できる		○		
PC(PCa)設計で「プレキャスト筋筋の結合」曲線を作図できる		○		
「すべての図面を印刷」でカラーモード、複数範囲設定ができる		○		
「印刷の設定」でオーバーレイ図面を指定色で印刷できる		○		
ビューポート内のハッチングをハッチング図形のまま分解できる		○	○	
「引き違い戸」で、戸のかかりしるの設定ができる		○	○	
元図面で範囲を指定して「ビューポートの作成」ができる		○	○	
「QRコード挿入」で、図面に貼られたQRコードが読める		○	○	
閉じたポリラインの「重心」にスナップできる		○	○	○
三次元設計				
「CEDXM形式の読み込み」で木造建物の軸組みモデルを作成できる	★	○		
「ウォークスルー」した経路をアニメーションにできる	★	○		
点群データの描画に対応したDirectX描画	★	○	○	
より簡単に行き先を指示して「ウォークスルー」できる	★	○	○	
SketchUp 2021形式の読み書きに対応 ※64bit版 Windowsのみ	★	○	○	
階段を昇り降りしながらウォークスルーできる	★	○	○	○
「面の重心」スナップで二次元のポリラインへもスナップできる	★	○	○	○
モバイル&クラウド				
iPhoneのアプリで3Dモデルや図面を現実空間へAR表示できる		○		
大量の図面印刷やレンダリング終了時にスマートフォンに通知できる		○	○	
OneDriveへ読み書きできる		○	○	○
図面表現				
動画や画像、リンクを「リンクアイテム」として埋め込める		○	○	○

○…DRA-CAD22の新機能&改良機能 ○…それぞれのバージョンで搭載している機能

対応ファイル形式

ファイル入力	
CAD	mps, mpz, mpX, mpw, mpp, jwc, jww, dwg, dxf, sfc, p21, lfc*, skp*, obj*, 3dm*
画像	bmp, jpg/jpeg, tif/tiff, png
その他	pdf, pcd*, las*, wmf, emf, csv, xml(CEDXM)*, mpxl, gml
ファイル出力	
CAD	mps, mpz, mpX, mpw, mpp, jwc, jww, dwg, dxf, sfc, p21, skp*, stl*, 3ds*, obj*, 3dm*
画像	bmp, jpg/jpeg, tif/tiff, png
動画	avi
その他	pdf, wmf, emf, svg, xml(CEDXM)*, mpxl, html

* DRA-CAD22 LEでは対応していないファイル形式です。

動作環境

対応 OS : Windows 11^{*1}/10^{*2} (64bit/32bit)
 ディスク空き容量 : 1.5GBのディスク空き容量
 グラフィックス : OpenGLならびにDirectX 9^{*3}の機能をサポートできるビデオカードとドライバー
 ライセンス認証 : アクティブーション認証^{*4}
 必要なソフトウェア : .NET Framework 4, 3.5
 *1 Windows 11 SおよびARM版は除きます。
 *2 Windows 10 Mobile/Windows 10 SおよびARM版は除きます。
 *3 高速な描画が行えます。*4 アクティブーション認証は仮想化環境では利用できません。
 注) 単単住宅3次元コマンドは32ビット版でのみ使用できます。
 注) 64ビット版ではOCXのオプションコマンドは動作しません。